

平成25年度 全国学力・学習状況調査

調査結果のポイントについて

～北海道（公立）における調査結果～

本資料は、国が公表した調査結果のうち、「平成25年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」に示された全国の調査結果に基づき、全国と北海道の公立学校における調査結果の比較ができるように取りまとめたものである。

1 . 調査の概要	1
2 . 結果の概要	2
・ 教科に関する調査	
・ 児童生徒質問紙調査	
・ 学校質問紙調査	
3 . 教科に関する調査	
・ 小学校<国語・算数>	4
・ 中学校<国語・数学>	14
・ 過去の同一・類似問題との比較	25
4 . 質問紙調査	
・ 学習に対する関心・意欲・態度	36
・ 学校の指導・取組	44
・ 家庭学習	48
・ コミュニケーション能力	50
・ グローバル人材の育成	52
・ 社会に対する興味・関心	55
・ 地域との関わり	57
・ 生活習慣	59
・ 土曜日の過ごし方	61
・ 家庭でのコミュニケーション	62
・ 規範意識	62

1. 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童
 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒

3 調査の内容

教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]

質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査

なお、平成25年度調査は、きめ細かい把握・分析ができるよう複数冊子化（共通項目を含む、
 子を作成）して実施。各冊子は、各都道府県内においてできるだけ偏りなく実施されるよう学校単位で割り振り、
 各学校は割り振られた1冊子のみ調査を実施。

- ・学校に対する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査期日

平成25年4月24日（水）

6 平成25年4月24日（水）に調査を実施した学校・児童生徒数

北海道（公立）

〔参考〕全国（公立）

	対象学校数(校)	実施学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)		対象学校数(校)	実施学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)
小学校	1,118	1,113(99.6%)	43,575	小学校	20,458	20,418(99.8%)	1,108,272
中学校	633	631(99.7%)	43,395	中学校	9,886	9,752(98.6%)	1,027,458
合計	1,751	1,744(99.6%)	86,970	合計	30,344	30,170(99.4%)	2,135,730

小学校には特別支援学校小学部を、中学校には中等教育学校、特別支援学校中学部を含む
 インフルエンザ等により後日実施した学校（小5校、中2校）は、実施学校数(校)に含まれていない

【用語説明】

語句	説明
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。
平均正答率の95%信頼区間	抽出調査の場合において、95%の確率で全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲。（平成24年度調査のみ該当）
中央値	集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。 平均値とともに集団における代表値としてとらえられる。
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。 標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値がすべて同じ）ことを意味する。

【調査結果の解釈等に関する留意事項】

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、これらの数値のみで必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。また、個々の設問や領域等に注目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

平成25年度は悉皆調査であるが、平成24年度は抽出調査であったため、平成24年度の国の数値については、抽出調査の結果を用いている。一方、平成24年度の北海道の数値については、札幌市を除くすべての市町村が、抽出対象とならなかった学校も希望利用という形で参加したことから、これらの学校の結果を合算集計した結果（札幌市の抽出校を含む）を用いている。

このため、平成24年度と平成25年度の数値は単純な比較ができないことに留意する必要がある。

2. 結果の概要

教科に関する調査

小・中学校いずれの教科においても、全国の平均正答率を下回っているものの、平成24年度と比較すると、小学校のすべての教科、中学校国語A、数学Aで、全国の平均正答率との差が縮まっている。

小学校は、昨年度、すべての教科で全国の平均正答率との差が4ポイント以上あったが、今年度は、国語A、算数Aで2.3ポイントとなった。一方、小学校算数Bは、全国の平均正答率との差が4.4ポイントある。

中学校は、昨年度と同様、すべての教科で全国との差が2.4ポイント以内である。

過去の同一問題及び類似問題との比較では、合計58問中24問で全国との差が小さくなり、また、5問で全国を上回っている。

平成25年度調査 各教科の平均正答率

		小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
平均正答率	道	60.4	46.4	74.9	54.0	76.0	66.2	62.3	39.1
	国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
平均正答数	道	10.9問 / 18問	4.6問 / 10問	14.2問 / 19問	7.0問 / 13問	24.3問 / 32問	6.0問 / 9問	22.4問 / 36問	6.3問 / 16問
	国	11.3問 / 18問	4.9問 / 10問	14.7問 / 19問	7.6問 / 13問	24.4問 / 32問	6.1問 / 9問	22.9問 / 36問	6.6問 / 16問

【参考 平成24年度（北海道「合算」）】

		小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
平均正答率	道	77.4	51.1	68.7	54.3	74.0	63.7	60.0	46.9
	国	81.6	55.6	73.3	58.9	75.1	63.3	62.1	49.3
平均正答数	道	13.2問 / 17問	5.6問 / 11問	13.1問 / 19問	7.1問 / 13問	23.7問 / 32問	5.7問 / 9問	21.6問 / 36問	7.0問 / 15問
	国	13.9問 / 17問	6.1問 / 11問	13.9問 / 19問	7.7問 / 13問	24.0問 / 32問	5.7問 / 9問	22.4問 / 36問	7.4問 / 15問

< 全国の平均正答率との差 >

	小国語A	小国語B	小算数A	小算数B	中国語A	中国語B	中数学A	中数学B
H25	-2.3	-3.0	-2.3	-4.4	-0.4	-1.2	-1.4	-2.4
H24	-4.2	-4.5	-4.6	-4.6	-1.1	+0.4	-2.1	-2.4
H25 - H24	1.9	1.5	2.3	0.2	0.7	-1.6	0.7	0.0

< 過去の同一問題及び類似問題 >

	小国語A	小国語B	小算数A	小算数B	中国語A	中国語B	中数学A	中数学B	合計
過去の同一問題及び類似問題数	5	1	15	6	3	1	23	4	58
全国との差が小さくなった問題数	3	1	8	1	0	0	8	3	24
全国との差が大きくなった問題数	0	0	1	2	2	1	3	0	9
全国を上回った問題数	1	0	2	0	1	0	1	0	5
その他の問題数	1	0	4	3	0	0	11	1	20

その他の問題とは、全国との差がなかった問題及び、過去の類似問題が複数ありどちらにも当てはまる問題を表す。

児童生徒質問紙調査

()内は掲載ページと質問番号

国語の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で57.5%、中学校で59.3%であり、昨年度と比較し、小学校で4.4ポイント低く、中学校で2.3ポイント高い。全国と比較し、小学校で0.4ポイント低く、中学校で1.6ポイント高い。(P36上段：小 53・ 52・ 62、中 53・ 52・ 63)

算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で63.6%、中学校で55.3%であり、昨年度と比較し、小学校で0.7ポイント、中学校で2.6ポイント高い。全国と比較し、小学校で2.6ポイント、中学校で0.2ポイント低い。(P40上段：小 73・ 62・ 72、中 73・ 62・ 73)

家で授業の復習をする児童生徒の割合は、小学校で59.1%、中学校で54.3%であり、昨年度と比較し、小学校で0.6ポイント、中学校で3.2ポイント高い。全国と比較し、小学校で7.7ポイント、中学校で5.7ポイント高い。(P48上段：小中 32・ 27・ 37)

1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校で50.5%、中学校で62.1%であり、昨年度と比較し、小学校で5.9ポイント、中学校で5.0ポイント高い。全国と比較し、小学校で12.7ポイント、中学校で6.5ポイント低い。(P48下段：小中 15・ 13・ 23)

1日当たり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり(テレビゲーム除く)する児童生徒の割合は、小学校で41.2%、中学校で32.4%であり、昨年度と比較し、小学校で6.4ポイント、中学校で4.5ポイント低い。全国と比較し、小学校で2.6ポイント、中学校で2.7ポイント高い。(P59下段：小中 11・ 11・ 21)

1日当たり3時間以上、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む)をする児童生徒の割合は、小学校で20.4%、中学校で17.9%であり、昨年度と比較し、小学校で2.7ポイント、中学校で1.7ポイント高い。全国と比較し、小学校で5.5ポイント、中学校で3.6ポイント高い。(P60上段：小中 12・ 12・ 22)

1日に7時間以上、9時間より少ない範囲で睡眠をとる児童生徒の割合は、小学校で46.9%、中学校で58.3%であり、昨年度と比較し、小学校で0.8ポイント、中学校で1.1ポイント低い。全国と比較し、小学校で6.7ポイント低く、中学校で3.2ポイント高い。(P60下段：小中 10・ 10・ 20)

学校質問紙調査

()内は掲載ページと質問番号

国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を「よく与えた」学校の割合は、小学校で68.8%、中学校で32.5%であり、昨年度と比較し、小学校で5.8ポイント高く、中学校で0.8ポイント低い。全国と比較し、小学校で13.8ポイント、中学校で14.2ポイント低い。(P49上段：小95、中84)

算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を「よく与えた」学校の割合は、小学校で72.8%、中学校で42.6%であり、昨年度と比較し、小学校で6.3ポイント、中学校で2.6ポイント高い。全国と比較し、小学校で11.5ポイント、中学校で8.9ポイント低い。(P49下段：小99、中88)

国語の指導として、書く習慣を身に付ける授業を「よく行った」学校の割合は、小学校で24.7%、中学校で30.4%であり、昨年度と比較し、小学校で1.2ポイント、中学校で5.1ポイント高い。全国と比較し、小学校で2.9ポイント、中学校で3.2ポイント低い。(P45上段：小74、中67)

授業研究を伴う校内研修を前年度、7回以上実施した学校の割合は、小学校で68.7%、中学校で45.9%であり、昨年度と比較し、小学校で5.5ポイント高く、中学校で3.4ポイント低い。全国と比較し、小学校で2.2ポイント、中学校で2.1ポイント高い。(P45下段：小111、中100)

授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動を計画的に「よく行った」学校の割合は、小学校で50.1%、中学校で32.2%であり、全国と比較し、小学校で10.3ポイント、中学校で11.5ポイント低い。(P47上段：小35、中29 新規)

授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に「よく行った」学校の割合は、小学校で37.9%、中学校で25.8%であり、全国と比較し、小学校で3.2ポイント、中学校で0.6ポイント低い。(P47下段：小36、中30 新規)

3. 教科に関する調査 小学校国語A

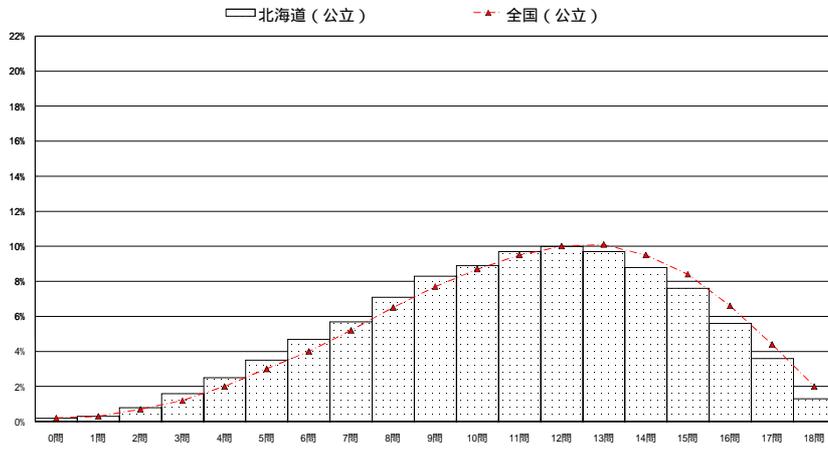
【概要】

平均正答率は、60.4%
 全国の平均正答率との差は、-4.2ポイント（平成24年度）から-2.3ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要

【平成25年度】国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,571人	10.9問/18問	60.4%	11.0問	3.7
全国	1,108,245人	11.3問/18問	62.7%	12.0問	3.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	45.2	43.2
	書くこと	4	50.1	53.0
	読むこと	3	60.5	60.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15	60.5	62.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	41.3	44.9
	話す・聞く能力	1	45.2	43.2
	書く能力	4	50.1	53.0
	読む能力	3	60.5	60.1
	言語についての知識・理解・技能	15	60.5	62.6
問題形式	選択式	7	65.4	66.3
	短答式	10	58.9	61.9
	記述式	1	41.3	44.9

【平成24年度】国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	31,747人	13.2問/17問	77.4%	-	14.0問	3.1
全国	255,180人	13.9問/17問	81.6%	81.4%-81.7%	15.0問	2.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



小学校国語 B

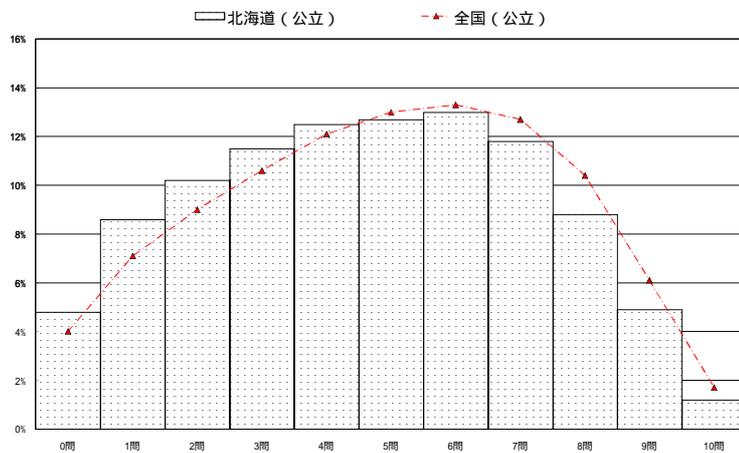
【概要】

平均正答率は、46.4%
 全国の平均正答率との差は、-4.5ポイント（平成24年度）から-3.0ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を**活用する能力を更に身に付けさせる必要**

【平成25年度】国語 B

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,566人	4.6問/10問	46.4%	5.0問	2.5
全国	1,108,075人	4.9問/10問	49.4%	5.0問	2.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



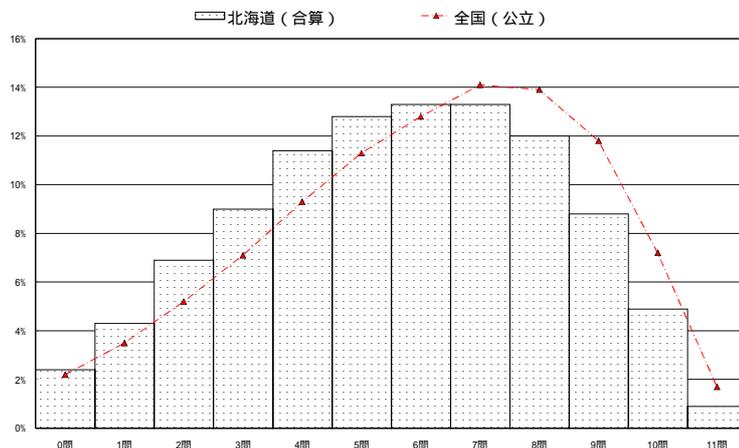
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	62.0	64.8
	書くこと	4	40.4	43.8
	読むこと	4	44.9	47.9
評価の観点	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	60.9	63.8
	国語への関心・意欲・態度	2	39.4	42.5
	話す・聞く能力	3	62.0	64.8
	書く能力	4	40.4	43.8
	読む能力	4	44.9	47.9
	言語についての知識・理解・技能	1	60.9	63.8
	問題形式	選択式	3	57.1
短答式		5	42.8	45.9
記述式		2	39.4	42.5

【平成24年度】国語 B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	31,737人	5.6問/11問	51.1%	-	6.0問	2.6
全国	255,139人	6.1問/11問	55.6%	55.4%-55.8%	6.0問	2.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)

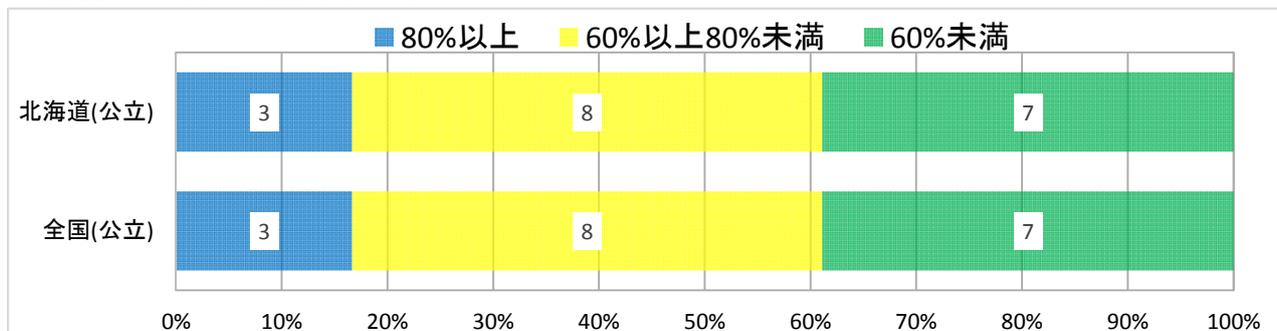


【設問別の正答率の状況】

【小学校国語】

- 国語A(知識)(18問): 正答率80%以上の問題=3問、正答率60%未満の問題=7問
- 国語B(活用)(10問): 正答率80%以上の問題=0問、正答率60%未満の問題=7問

1 国語A(知識) (設問数18問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (4問/18問)

※4問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

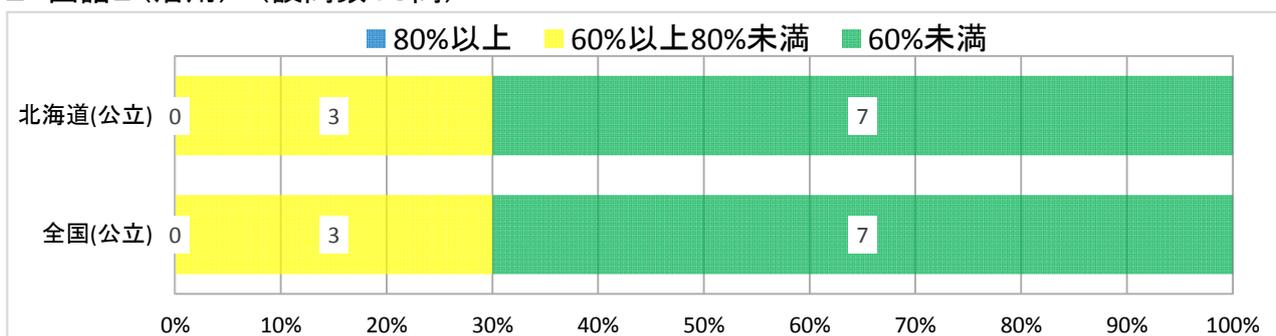
設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
7	話すこと・聞くこと 言語事項	スピーチの表現を工夫する	45.2%	43.2%	2.0
5イ	読むこと 言語事項	広告を読み、編集の特徴を捉える	72.6%	71.7%	0.9

<平均正答率が全国を下回っている設問> (14問/18問)

※14問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1二(1)	言語事項	学年別漢字配当表に示されている漢字(魚をやく)を正しく書く	67.0%	72.4%	-5.4
3一	言語事項	文の定義を理解する	31.3%	36.5%	-5.2

2 国語B(活用) (設問数10問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (0問/10問)

<平均正答率が全国を下回っている設問> (10問/10問)

※10問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
2二	書くこと	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く	22.0%	26.2%	-4.2
1三	話すこと・聞くこと 書くこと	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする	63.5%	67.2%	-3.7

【小学校国語A】設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1-(1)	漢字を読む (乗り物の登を買う)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む													99.0	0.5	98.9	0.5
1-(2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)														77.8	2.3	79.2	2.2
1-(3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)														62.9	3.5	64.9	3.1
1二(1)	漢字を書く (魚を釣く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く													67.0	6.7	72.4	5.6
1二(2)	漢字を書く (バスがていしゃした)														41.8	13.7	46.9	11.0
1二(3)	漢字を書く (委員会をもうける)														49.6	31.7	53.5	27.4
2一	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)	ことわざの意味を理解する													66.6	0.9	71.1	1.2
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する (急がば回れ)														82.3	0.9	86.1	1.2
3一	文のはじめの5文字を丸で囲む	文の定義を理解する													31.3	23.9	36.5	20.2
3二(1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く													20.2	12.5	23.4	10.3
3二(2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する	接続語「だから」のもつ働きを理解する													82.5	3.5	83.3	3.5
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く													70.3	13.1	72.4	11.9
4イ															68.9	19.8	71.3	18.1
4ウ			「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く													41.3	22.5	44.9
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	広告を読み、編集の特徴を捉える													61.0	7.1	61.1	9.2
5イ															72.6	7.9	71.7	10.3
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える													47.9	11.4	47.5	14.4
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	スピーチの表現を工夫する													45.2	18.5	43.2	21.9

【小学校国語B】設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国 (公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	相手の立場や状況を感じ取って聞く													76.9	1.3	78.8	1.2
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする													45.6	1.3	48.5	1.2
1三	川本さんの助言についての説明を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする													63.5	12.9	67.2	9.7
2ー	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える													60.9	5.3	63.8	4.4
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦労が具体的に書かれている内容を引用して書く	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く													22.0	15.6	26.2	13.3
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く													15.4	26.6	17.8	20.4
3ーア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く	2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える													47.0	18.0	49.7	15.7
3ーイ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く														42.1	32.5	45.3	28.8
3ーウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く														41.9	34.4	44.6	30.6
3二	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える													48.8	10.5	51.9	10.6

小学校算数 A

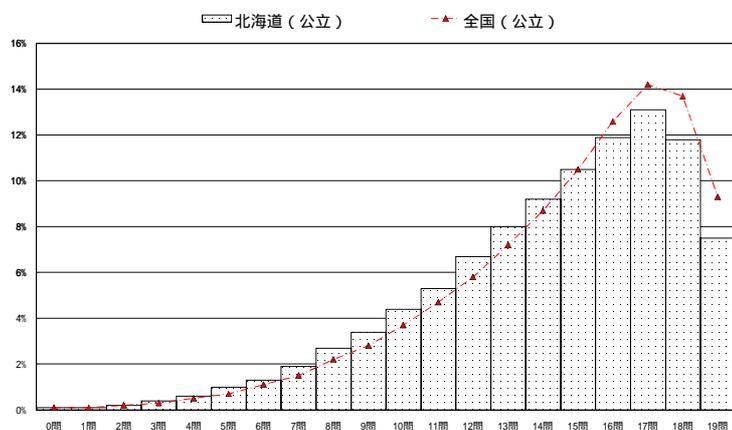
【概要】

平均正答率は、74.9%
 全国の平均正答率との差は、-4.6ポイント（平成24年度）から-2.3ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要

【平成25年度】算数 A

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,575人	14.2問/19問	74.9%	15.0問	3.6
全国	1,108,272人	14.7問/19問	77.2%	15.0問	3.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と計算	8	77.8	80.2
	量と測定	4	65.5	68.3
	図形	3	70.4	72.5
	数量関係	4	81.7	83.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	8	84.8	86.2
問題形式	数量や図形についての知識・理解	11	67.6	70.5
	選択式	8	65.5	68.2
	短答式	11	81.7	83.6
	記述式	0		

【平成24年度】算数 A

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	31,749人	13.1問/19問	68.7%	-	14.0問	3.8
全国	255,186人	13.9問/19問	73.3%	73.1%-73.5%	15.0問	3.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



小学校算数B

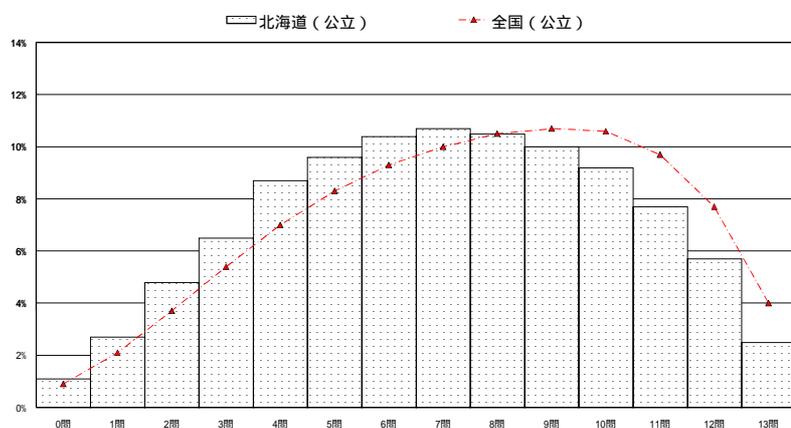
【概要】

平均正答率は、54.0%
 全国の平均正答率との差は、-4.6ポイント（平成24年度）から-4.4ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を更に身に付けさせる必要
 特に、記述式の問題（5問）で全国との差が大きい（-5.7ポイント）

【平成25年度】算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,570人	7.0問/13問	54.0%	7.0問	3.2
全国	1,108,107人	7.6問/13問	58.4%	8.0問	3.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：児童の割合）



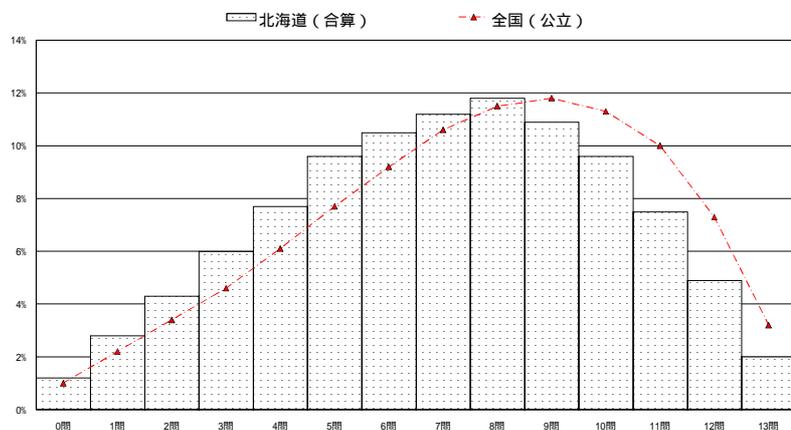
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北海道 (公立)	全国 (公立)
学習指導 要領の 領域	数と計算	3	43.5	48.3
	量と測定	7	51.3	56.0
	図形	3	77.3	79.3
	数量関係	7	50.1	54.9
評価の 観点	算数への関心・意欲・態度	0	-	-
	数学的な考え方	8	41.8	46.8
	数量や図形についての技能	1	73.1	76.1
	数量や図形についての知識・理解	4	73.7	77.2
問題 形式	選択式	4	70.8	73.8
	短答式	4	57.9	61.9
	記述式	5	37.5	43.2

【平成24年度】算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	31,748人	7.1問/13問	54.3%	-	7.0問	3.1
全国	255,151人	7.7問/13問	58.9%	58.7%-59.1%	8.0問	3.1

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：児童の割合）

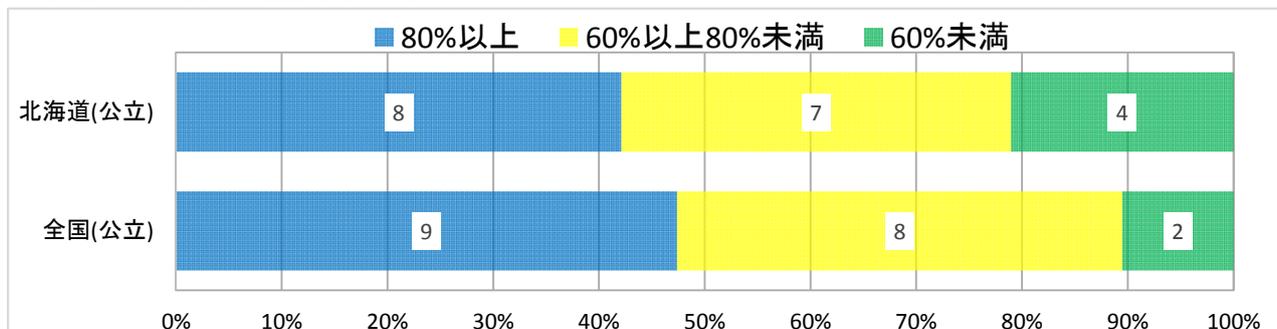


【設問別の正答率の状況】

【小学校算数】

- 算数A(知識)(19問): 正答率80%以上の問題=8問、正答率60%未満の問題=4問
- 算数B(活用)(13問): 正答率80%以上の問題=2問、正答率60%未満の問題=9問

1 算数A(知識) (設問数19問)



＜平均正答率が全国を上回っている設問＞(2問/19問)

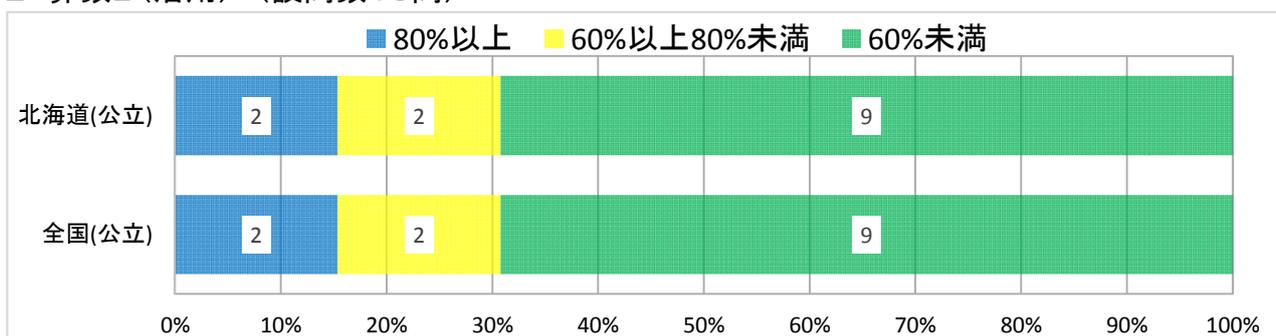
設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(2)	数と計算	小数の加法の計算をすることができる	73.3%	71.3%	2.0
1(6)	数と計算	同分母の分数の加法の計算をすることができる	89.2%	88.9%	0.3

＜平均正答率が全国を下回っている設問＞(16問/19問)

※16問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(7)	数と計算	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる	83.0%	89.5%	-6.5
5(3)	量と測定	台形の面積の求め方を理解している	67.8%	73.3%	-5.5

2 算数B(活用) (設問数13問)



＜平均正答率が全国を上回っている設問＞(0問/13問)

＜平均正答率が全国を下回っている設問＞(13問/13問)

※13問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
4(1)	数と計算量と測定	単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる	35.7%	43.1%	-7.4
5(2)	数量関係	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる	37.3%	44.4%	-7.1

[小学校算数A]設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	$243 - 65$ を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる													87.6	0.2	88.2	0.2
1(2)	$0.75 + 0.9$ を計算する	小数の加法の計算をすることができる													73.3	0.3	71.3	0.3
1(3)	9.3×0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる													79.6	0.5	83.7	0.4
1(4)	$6 \div 5$ を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる													86.6	1.6	88.3	1.4
1(5)	$16 - (6 + 3)$ を計算する	()を用いた整数の計算をすることができる													94.4	0.8	94.4	0.8
1(6)	$2 + 5/7 + 1$ と $1/7$ を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる													89.2	2.2	88.9	2.1
1(7)	$2/9 \times 4$ を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる													83.0	3.1	89.5	1.7
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している													55.1	2.5	60.2	1.9
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している													67.6	1.9	71.6	1.8
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している													46.3	1.0	50.0	0.8
5(1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している													96.8	0.4	97.4	0.4
5(2)	1a(1アール)と等しい面積になる正方形の1辺の長さを選ぶ	1a(1アール)の面積と等しい正方形の1辺の長さを理解している													51.3	1.2	52.3	1.1
5(3)	上底3cm,下底8cm,高さ4cm,斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している													67.8	2.4	73.3	2.1
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している													58.8	1.1	60.7	1.0
7(1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さに対応していることを理解している													90.0	2.5	90.6	2.1
7(2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さを求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長ささと展開図の側面の辺の長さに対応していることを理解している													62.3	6.8	66.3	5.7
8(1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している													73.8	2.4	76.7	2.2
8(2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している													74.1	2.9	76.9	2.8
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さで最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる													84.6	2.8	85.7	2.8

[小学校算数B]設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		北海道(公立)		全国(公立)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる												48.8	3.6	51.0	3.1
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できる												46.0	1.1	50.8	0.9
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している												44.9	4.7	51.7	3.4
2(2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することができる												71.1	1.7	75.6	1.3
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さ10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる												30.3	23.9	35.2	19.0
3(1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる												85.8	0.9	87.3	0.8
3(2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる												38.0	20.3	42.7	15.6
3(3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる												53.3	4.4	56.3	3.6
4(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる												35.7	14.9	43.1	11.4
4(2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる												92.8	3.3	94.2	2.6
4(3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる												45.3	9.6	50.6	7.4
5(1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる												73.1	6.2	76.1	5.1
5(2)	棒グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる												37.3	9.4	44.4	7.8

中学校国語 A

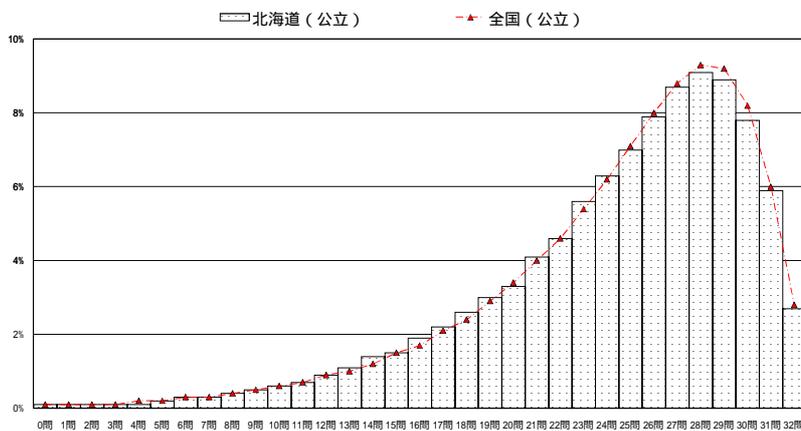
【概要】

平均正答率は、76.0%
 全国の平均正答率との差は、-1.1ポイント（平成24年度）から-0.4ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要

【平成25年度】国語 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,387人	24.3問/32問	76.0%	26.0問	5.6
全国	1,026,851人	24.4問/32問	76.4%	26.0問	5.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



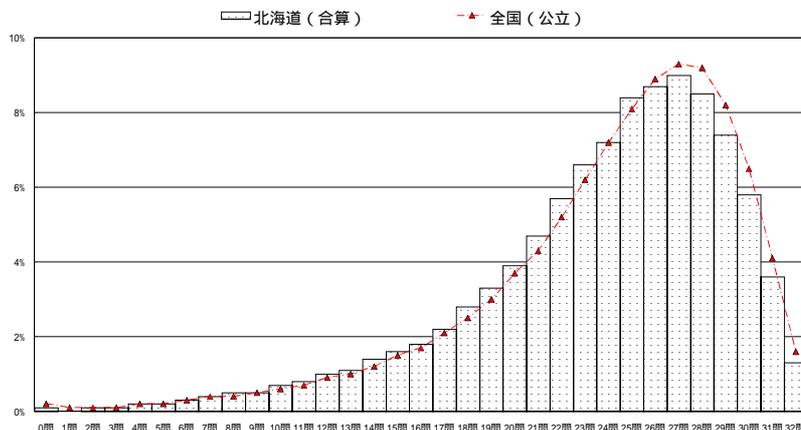
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)	
			北海道 (公立)	全国 (公立)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	77.9	77.6
	書くこと	4	63.7	64.5
	読むこと	6	79.3	80.0
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	18	77.2	77.5
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	4	77.9	77.6
	書く能力	4	63.7	64.5
	読む能力	6	79.3	80.0
問題 形式	言語についての知識・理解・技能	18	77.2	77.5
	選択式	21	77.0	77.3
	短答式	11	74.0	74.7
	記述式	0		

【平成24年度】国語 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	34,067人	23.7問/32問	74.0%	-	25.0問	5.5
全国	424,157人	24.0問/32問	75.1%	75.0%-75.2%	25.0問	5.5

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



中学校国語 B

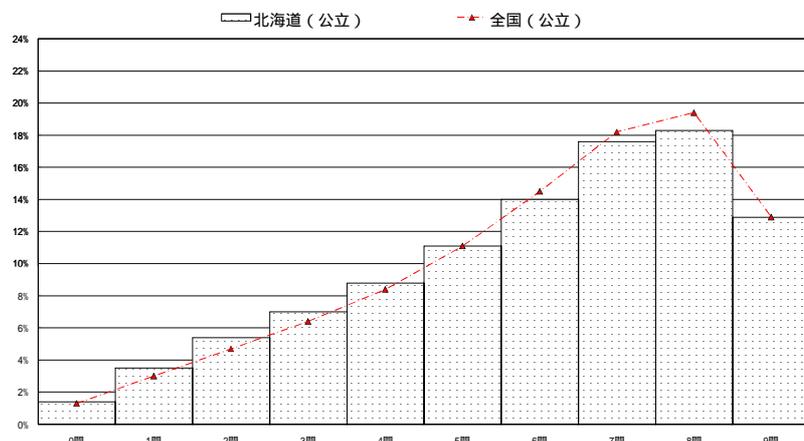
【概要】

平均正答率は、66.2%
 全国の平均正答率との差は、+0.4ポイント（平成24年度）から-1.2ポイントに拡大
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を身に付けさせる必要

【平成25年度】国語 B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,391人	6.0問/9問	66.2%	6.0問	2.3
全国	1,027,087人	6.1問/9問	67.4%	7.0問	2.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



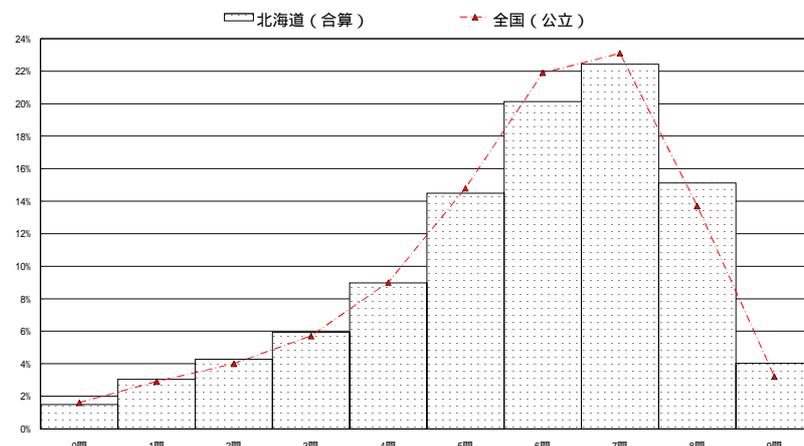
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0		
	書くこと	3	61.6	62.7
	読むこと	8	66.4	67.8
評価の観点	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	64.4	64.6
	国語への関心・意欲・態度	3	61.6	62.7
	話す・聞く能力	0		
	書く能力	3	61.6	62.7
	読む能力	8	66.4	67.8
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	64.4	64.6
	選択式	5	66.8	68.2
	短答式	1	77.0	77.5
	記述式	3	61.6	62.7

【平成24年度】国語 B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	34,039人	5.7問/9問	63.7%	-	6.0問	2.0
全国	424,258人	5.7問/9問	63.3%	63.2%-63.4%	6.0問	2.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)

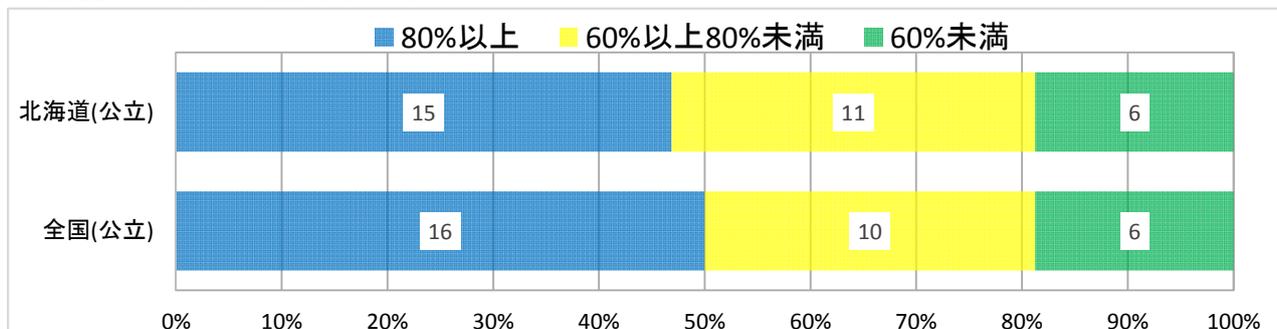


【設問別の正答率の状況】

【中学校国語】

- 国語A(知識)(32問): 正答率80%以上の問題=15問、正答率60%未満の問題=6問
- 国語B(活用)(9問): 正答率80%以上の問題=0問、正答率60%未満の問題=1問

1 国語A(知識) (設問数32問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (13問/32問)

※13問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

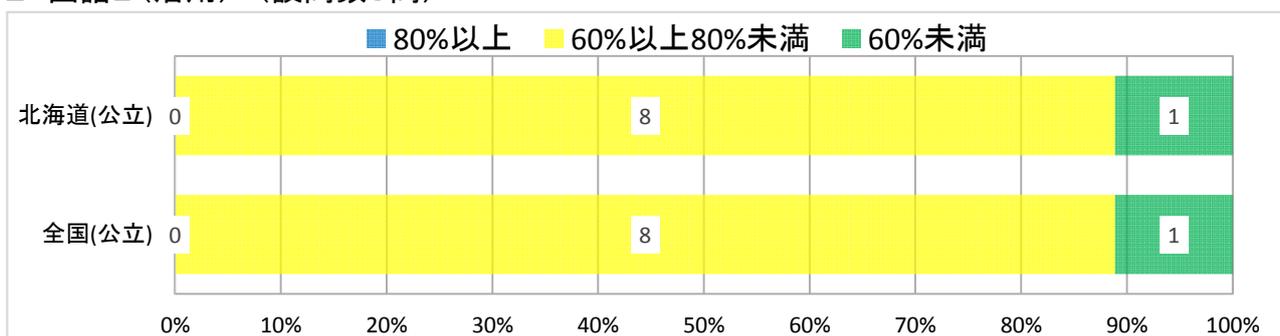
設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
8二2	言語事項	文脈に即して漢字(社会を風刺する)を正しく読む	74.1%	70.6%	3.5
1二	話すこと・聞くこと	話合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	57.5%	54.7%	2.8

<平均正答率が全国を下回っている設問> (18問/32問)

※18問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
8七1	言語事項	比喩を用いた表現について理解する	48.3%	52.4%	-4.1
8-2	言語事項	文脈に即して漢字(おやつをキントウに分け合う)を正しく書く	55.9%	59.3%	-3.4

2 国語B(活用) (設問数9問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (0問/9問)

<平均正答率が全国を下回っている設問> (9問/9問)

※9問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
3二	読むこと	情報を関連させて読む	68.0%	70.2%	-2.2
1三	書くこと 読むこと	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	55.9%	57.9%	-2.0

【中学校国語A】設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道（公立）		全国（公立）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）	
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものと適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす													90.5	0.1	90.5	0.2
1二	話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する														57.5	0.1	54.7	0.2
2一	「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもしろ」と筆者が述べたものとして適切なものを選択する	描写に注意して読み、内容を理解する													76.8	0.1	76.0	0.3
2二	「あの枯れ枝の梢を……うれしげであることだろう。」と筆者が感じた理由を説明したものと適切なものを選択する	描写の効果を考え、内容を理解する													85.2	0.3	86.7	0.5
3一	見出しを変更した理由として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す													58.5	0.5	58.1	0.8
3二	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く													47.8	7.1	48.8	6.0
4一	「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選択する	文章の表現の特徴を捉える													84.6	0.2	84.8	0.3
4二	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る													69.8	0.2	70.1	0.4
5一	米の断面図に入る言葉として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する													86.1	0.3	86.8	0.4
5二	「小麦はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉える													73.3	0.3	75.6	0.4
6一	取材の仕方の説明として適切なものを選択する	話すための材料を多様な方法で集める													84.0	0.5	84.6	0.7
6二	カードを使って話す際に使用する言葉の組合せとして適切なものを選択する	論理的な構成や展開を考えて話す													79.4	0.6	80.7	0.9
7一	比較の対象が明確に分かるように書く	伝えたい事柄を明確にして書く													72.2	5.2	73.6	4.4
7二	内容に応じて第二段落を二つに分ける	段落の役割を考えて文章を構成する													76.1	0.9	77.5	1.1
8一1	漢字を書く（大きなまづをもつ）														85.3	3.1	87.5	3.0
8一2	漢字を書く（おやつを主ントウに分け合う）	文脈に即して漢字を正しく書く													55.9	13.5	59.3	11.9
8一3	漢字を書く（着物に合わせてオビを選ぶ）														67.4	15.0	66.7	15.2
8二1	漢字を読む（異論を唱える）														94.4	2.3	93.2	2.7
8二2	漢字を読む（社会を風刺する）	文脈に即して漢字を正しく読む													74.1	4.1	70.6	4.9
8二3	漢字を読む（山々が連なる）														89.7	2.2	89.4	2.7
8三ア	適切な語句を選択する（今年の夏の暑さには閉口した）														45.0	1.5	46.6	1.7
8三イ	適切な語句を選択する（友達に将来の抱負を話す）														65.2	0.6	62.7	0.8
8三ウ	適切な語句を選択する（あこがれの仕事に就く）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う													96.5	0.5	96.3	0.7
8三エ	適切な語句を選択する（直前になって、二の足を踏む）														86.0	0.7	84.8	0.9
8三オ	適切な語句を選択する（にわかには強い雨が降り出し、人々はあわてた）														83.1	0.7	81.3	0.9
8三カ	適切な語句を選択する（彼には、いくら言っても「馬の耳に念仏」で効果がない）														90.0	1.0	90.2	1.1
8四	行書を楷書で書く	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く													96.6	1.4	96.4	1.4
8五1	「母がイギリスに帰りました。」という言い方が正しい理由として適切なものを選択する	敬語の働きについて理解する													68.0	0.9	69.8	1.0
8五2	適切な敬語を選択する	文脈の中で敬語を適切に使う													91.5	0.8	91.3	1.0
8六	「すまじい」と修飾・被修飾の関係にあるものを選択する	修飾語と被修飾語の照応について理解する													70.7	1.3	73.4	1.5
8七1	「かすみ」や「雲」のように見えたものを本文中から抜き出す	比喩を用いた表現について理解する													48.3	3.6	52.4	3.7
8七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（にほふ）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む													82.8	5.2	83.4	5.5

【中学校国語B】設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道 (公立)		全国(公立)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1一	段落相互の関係について説明したものと適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える												70.3	0.3	71.7	0.4
1二	図が示す内容を説明したものと適切なものを選択する	図と文章との関係を捉える												61.1	0.3	62.7	0.4
1三	「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える												55.9	3.4	57.9	2.8
2一	エヌ氏の生活について説明した言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える												77.0	2.7	77.5	2.6
2二	表現の効果を説明したものと適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、その効果を考える												74.4	0.4	75.6	0.5
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く	文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く												64.4	16.0	65.7	11.3
3一	新聞記事の書き方の特徴を説明したものと適切なものを選択する	文章の構成や表現の特徴を捉える												60.1	0.7	61.0	0.9
3二	資料がどのような疑問を解決するための参考になるのかを説明したものと適切なものを選択する	情報を関連させて読む												68.0	0.8	70.2	1.2
3三	間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する	漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書く												64.4	6.1	64.6	5.4

中学校数学 A

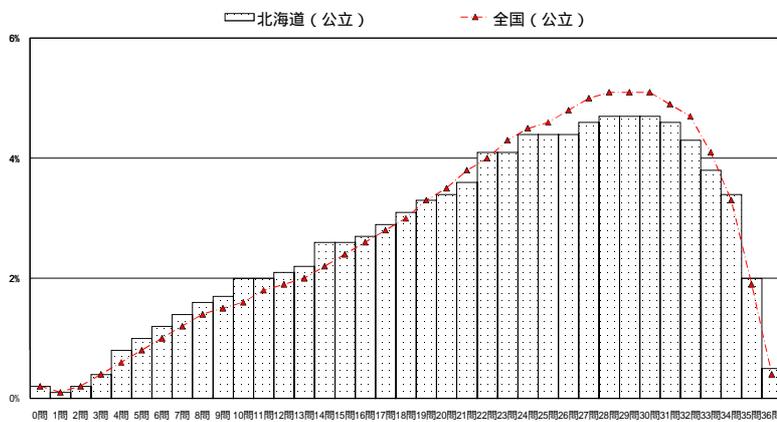
【概要】

平均正答率は、62.3%
 全国の平均正答率との差は、-2.1ポイント（平成24年度）から-1.4ポイントに縮小
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる必要

【平成25年度】数学 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,388人	22.4問/36問	62.3%	24.0問	8.2
全国	1,027,458人	22.9問/36問	63.7%	24.0問	8.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



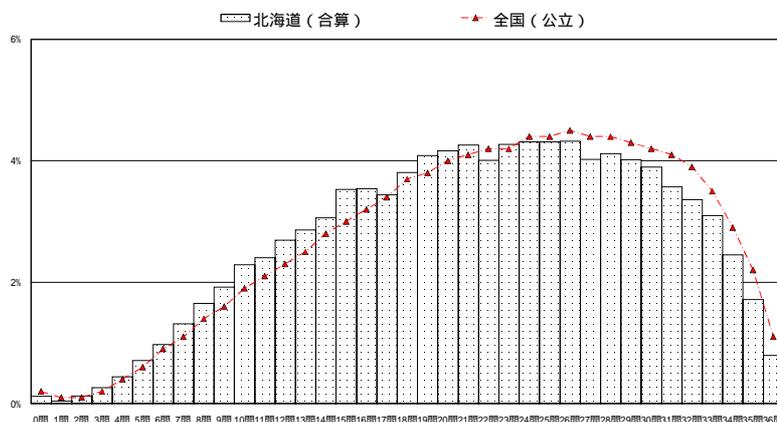
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			北海道 (公立)	全国 (公立)
学習指導 要領の 領域	数と式	11	70.3	72.7
	図形	12	63.4	64.6
	関数	9	58.1	58.7
	資料の活用	4	46.5	46.8
評価の 観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な技能	17	66.3	67.9
問題 形式	数量や図形などについての 知識・理解	19	58.7	59.8
	選択式	18	60.6	61.8
	短答式	18	64.0	65.5
	記述式	0		

【平成24年度】数学 A

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95% の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	34,022人	21.6問/36問	60.0%	-	22.0問	7.9
全国	424,379人	22.4問/36問	62.1%	62.0% - 62.3%	23.0問	7.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



中学校数学B

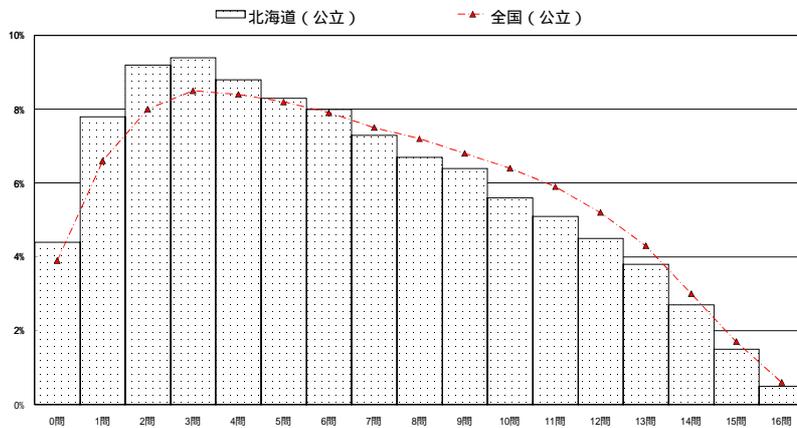
【概要】

平均正答率は、39.1%
 全国の平均正答率との差は、-2.4ポイントで、平成24年度と同じ
 今回出題された学習内容に関わる基礎的・基本的な知識・技能を活用する能力を身に付けさせる必要

【平成25年度】数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道	43,395人	6.3問/16問	39.1%	6.0問	4.0
全国	1,027,411人	6.6問/16問	41.5%	6.0問	4.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



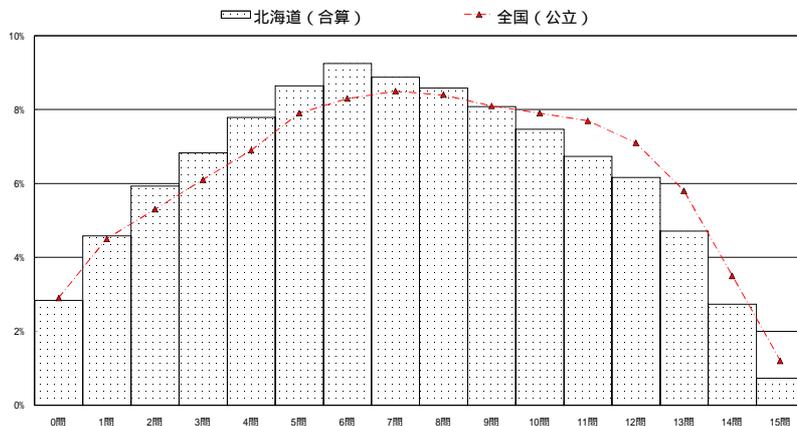
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			北海道(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式	5	37.7	41.7
	図形	2	44.2	44.8
	関数	6	37.9	40.0
	資料の活用	3	40.5	42.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	12	32.4	34.8
	数学的な技能	2	49.4	53.1
	数量や図形などについての知識・理解	2	68.9	70.7
問題形式	選択式	4	41.6	43.3
	短答式	5	53.0	55.8
	記述式	7	27.8	30.3

【平成24年度】数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率	平均正答率の95%の信頼区間	中央値	標準偏差
北海道	33,999人	7.0問/15問	46.9%	-	7.0問	3.7
全国	424,373人	7.4問/15問	49.3%	49.2%-49.5%	7.0問	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)

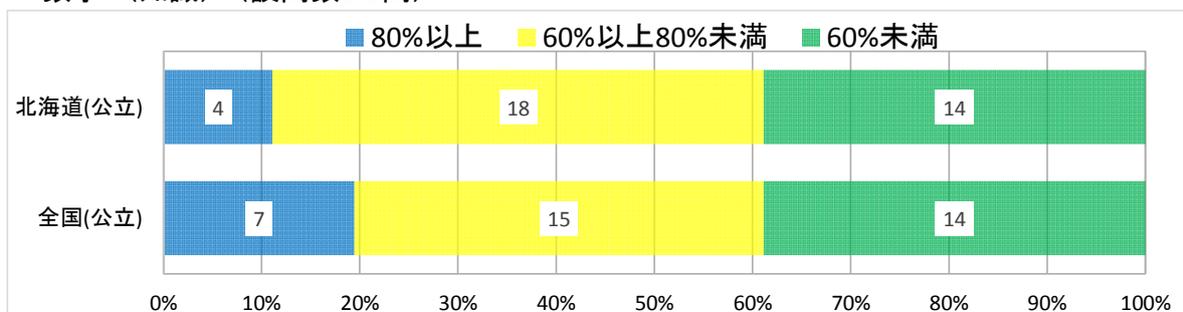


【設問別の正答率の状況】

【中学校数学】

- 数学A(知識)(36問):正答率80%以上の問題=4問、正答率60%未満の問題=14問
- 数学B(活用)(16問):正答率80%以上の問題=0問、正答率60%未満の問題=14問

1 数学A(知識) (設問数36問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (7問/36問)

※7問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

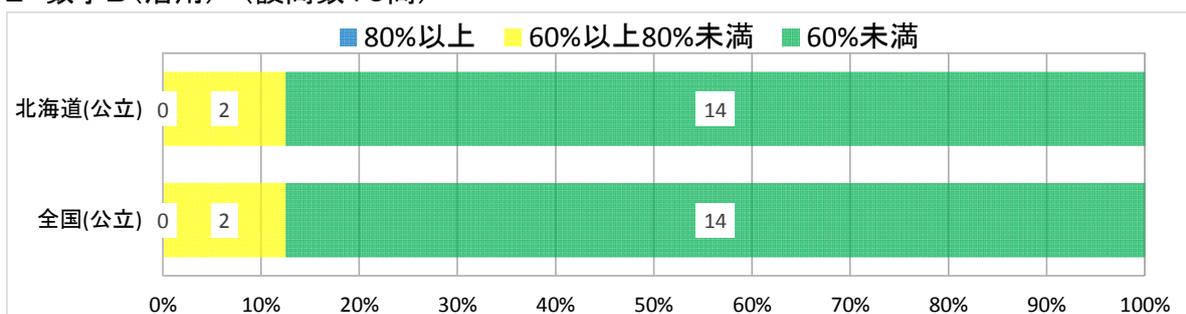
設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
9	関数	関数の意味を理解している	16.2%	13.8%	2.4
15(1)	資料の活用	確率の意味を理解している	34.9%	33.1%	1.8

<平均正答率が全国を下回っている設問> (29問/36問)

※29問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
1(2)	数と式	()を含む正の数と負の数の計算ができる	83.4%	87.5%	-4.1
2(1)	数と式	整式の加法と減法の計算ができる	77.8%	81.7%	-3.9

2 数学B(活用) (設問数16問)



<平均正答率が全国を上回っている設問> (2問/16問)

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
5(3)	資料の活用	事象を数学的に解釈することができる	33.7%	32.7%	1.0
3(1)	関数	与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができる	72.5%	72.4%	0.1

<平均正答率が全国を下回っている設問> (14問/16問)

※14問中、最も全国平均正答率との差が大きい2問を掲載した

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率	差
6(2)	数と式	数学的な結果を事象に即して解釈することができる	50.8%	56.6%	-5.8
6(3)	数と式	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	20.2%	24.1%	-3.9

[中学校数学A]設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	$5/8 \times 3/4$ を計算する	分数の乗法の計算ができる													79.8	2.9	83.2	2.3
1(2)	$5 \times (4 - 7)$ を計算する	() を含む正の数と負の数の計算ができる													83.4	1.1	87.5	1.2
1(3)	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している													73.3	0.4	75.8	0.4
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している													62.0	7.1	64.8	5.3
2(1)	$2(5x + 9y) - 5(2x + 3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる													77.8	2.3	81.7	2.3
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a + b)$ が表す量を選ぶ	与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる													63.5	0.3	66.9	0.4
2(3)	a mの重さが b gの針金の1 mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる													29.0	22.2	32.3	18.4
2(4)	等式 $2x + 3y = 9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	等式をある文字について解く際に用いられている等式の性質を理解している													71.8	0.7	74.0	0.8
3(1)	$3x + 7 = 9$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる													73.5	6.8	73.7	6.4
3(2)	$2x + y = 6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している													75.6	1.0	77.5	1.2
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる													83.5	9.4	82.7	9.2
4(1)	長方形の2倍の拡大図をかく	与えられた図形の拡大図をかくことができる													86.5	2.0	88.4	1.8
4(2)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図の方法を、図形の対称性に着目して見直すことができる													48.6	0.8	48.9	1.0
4(3)	ABCを、点Cを回転の中心として時計回りに回転移動してDECにぴったり重ねたとき、回転角の大きさを求める	回転移動の意味を理解している													54.2	4.3	56.0	3.5
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	空間における2直線の位置関係を理解している													54.7	0.8	56.7	1.1
5(2)	与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる													84.8	0.5	85.0	0.6
5(3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している													46.5	0.7	47.1	0.9
6(1)	平行線の間の三角形について、その内角 x 、 y の和の値を選ぶ	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している													77.8	0.9	78.8	1.0
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している													55.7	6.6	55.4	6.0
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している													78.9	0.6	79.2	0.7
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる													67.1	16.2	68.5	14.1
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している													44.0	1.0	47.7	1.1
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している													62.3	0.9	64.1	1.0
9	y が x の関数である事象を選ぶ	関数の意味を理解している													16.2	1.4	13.8	1.6

[中学校数学A]設問別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
10(1)	座標平面上の点の座標を求める	座標平面上にある点の位置を、2つの数の組で表すことができる													77.2	5.0	78.9	4.4
10(2)	比例定数が3である比例の式を選ぶ	比例定数が a である比例の式は $y = ax$ で表されることを理解している													63.7	1.2	64.7	1.3
10(3)	比例の表からグラフを選ぶ	比例の表とグラフの関係を理解している													53.0	1.5	52.5	1.5
10(4)	反比例 $y = 6/x$ のグラフを完成する	反比例の式から、グラフをかくことができる													67.8	8.2	71.0	6.8
11(1)	一次関数 $y = 2x - 1$ について、 x の値が3のときの y の値を求める	一次関数の式について、 x の値に対応する y の値を求めることができる													79.1	9.8	81.9	8.5
11(2)	一次関数の表から変化の割合を求める	一次関数の表から、変化の割合を求めることができる													44.1	23.5	42.4	23.7
12	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象から、 x と y の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる													53.5	19.8	54.3	18.4
13	二元一次方程式 $y = 3$ のグラフを選ぶ	二元一次方程式のグラフの特徴を理解している													67.9	1.6	69.0	1.6
14(1)	生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の平均値が21mだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	平均値の意味を理解している													73.8	1.8	77.4	1.8
14(2)	6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	ヒストグラムから相対度数を求めることができる													24.5	27.5	22.8	25.1
15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	確率の意味を理解している													34.9	2.6	33.1	2.7
15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる													52.7	15.5	53.8	12.9

【中学校数学B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			北海道（公立）		全国（公立）		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1（1）	15歳の優子さんの安静時心拍数が80のときの目標心拍数を求める	与えられた情報を言葉で表された式に基づいて処理することができる												50.1	8.1	53.7	7.2
1（2）	45歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が10のときの、二人の目標心拍数の差を求める	言葉で表された式の数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈することができる												28.5	25.5	31.7	22.2
1（3）	安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる												20.9	6.6	23.7	4.5
2（1）	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる												34.9	26.3	37.3	23.1
2（2）	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる												34.1	39.9	38.0	34.9
3（1）	水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める	与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができる												72.5	5.1	72.4	4.5
3（2）	与えられた表やグラフを用いて、水温が80 になるまでにかかる時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる												29.4	37.3	31.7	34.1
3（3）	水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ	事象を理想化・単純化して、事柄を数学的に捉え、他の事象との関係を考えることができる												25.9	1.5	26.9	1.9
4（1）	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	方針に基づいて証明することができる												32.2	26.4	32.4	23.3
4（2）	2つの辺の長さが等しいことを証明する際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ	証明の方針を立てることができる												56.2	1.8	57.1	2.0
5（1）	横の長さが与えられた長方形が含まれる階級を書く	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる												65.2	14.9	69.0	12.1
5（2）	まとも直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する	資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明することができる												22.6	47.8	24.8	43.1
5（3）	図2のヒストグラムで最も度数の大きい階級に含まれることになるものを選ぶ	事象を数学的に解釈することができる												33.7	1.9	32.7	2.2
6（1）	1辺に5個ずつ碁石を並べて正三角形の形をつかったときの、碁石全部の個数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる												48.6	8.1	52.5	7.0
6（2）	碁石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ	数学的な結果を事象に即して解釈することができる												50.8	1.8	56.6	2.1
6（3）	碁石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる												20.2	49.8	24.1	43.2

過去の同一・類似問題との比較(国語)

過去の同一・類似問題とは、平成19年度～平成24年度の調査問題と平成25年度の調査問題における同一及び類似の問題を指す。

各調査の問題の構成や難易度等が異なるため、単純な比較はできないことに留意する必要がある。

小学校国語において、A問題では同一問題が2問あり、すべて全国との差が小さくなった。また、無解答率も、すべてで全国との差が小さくなった。さらにA問題では類似問題が3問あり、そのうち、1問で全国との差が小さくなり、1問で過去に全国の正答率を下回っていたのが今年度は上回った。また、無解答率は、2問で全国との差が小さくなった。

B問題では類似問題が1問あり、全国との差が小さくなった。一方、無解答率は、全国との差が大きくなった。

中学校国語において、A問題では同一問題はない。また、類似問題が3問あり、この3問は過去に全国の正答率を上回っていたが、今年度はそのうち2問で全国を下回り、1問で全国を上回っているものの差が小さくなった。また、無解答率は、1問で全国との差が小さくなった。

B問題では類似問題が1問あり、この1問は過去に全国の正答率を上回っていたが、今年度は下回った。一方、無解答率は、全国との差が小さくなった。

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H22)との比較では、A問題で類似問題が2問あり、2問とも全国との差が小さくなった。また、無解答率は、1問で全国との差が小さくなり、1問で大きくなった。

同一問題とは、平成25年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「同じ問題」を指す。

類似問題とは、平成25年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「関連のある問題」を指す。

北海道、全国の数値は、設問ごとの平均正答率を表す。

□の数値は、北海道と全国の差を表す。

は差が小さくなった問題、は差が大きくなった問題、は差がなかった問題及び、過去の調査問題が複数ありどちらにも当てはまる問題を表す。

番号のAはA問題、BはB問題を指す。

【小学校国語】

過去の調査問題と同一問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A1一 正答 無解答	小5 小3	漢字を読む(めずらしい植物を採集)	62.9	64.9	3.5	3.1	H21 A1 漢字を読む(めずらしい植物を採集)	76.6	80.0	3.5	2.7
			□ -2.0		□ +0.4			□ -3.4		□ +0.8	
A1二 正答 無解答	小4	漢字を書く(魚をやく)	67.0	72.4	6.7	5.6	H19 A1 漢字を書く(魚をやく)	61.0	70.7	8.2	4.6
			□ -5.4		□ +1.1			□ -9.7		□ +3.6	

過去の調査問題と類似問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A3二 正答 無解答	小5 小6	接続語を使って一文を二文に分けて書く	20.2	23.4	12.5	10.3	H20 A3 文章を読み返して、書き直したほうがよい理由と方法を選択する	33.2	33.7	2.6	1.9
			□ -3.2		□ +2.2		□ -0.5		□ +0.7		
							H21 A8 接続語を使って一文を二文に分けて書く	11.2	14.7	39.2	30.2
							□ -3.5		□ +9.0		
						H22 A4 メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	56.8	60.3	2.9	2.0	
						□ -3.5		□ +0.9			
						H24 A7 新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	35.2	43.2	9.5	7.5	
						□ -8.0		□ +2.0			

番号	指導学年	H 2 5 問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A4 正答 無解答	小5 小6	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く	41.3	44.9	22.5	20.3	H20 A7 グラフから分かったことをメモに取る	40.9	47.5	14.9	10.9
			-3.6	+2.2	-6.6	+4.0					
A7 正答 無解答	小5 小6	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものととして適切なものを選択する	45.2	43.2	18.5	21.9	H21 A5 文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	55.6	58.7	0.9	0.7
			+2.0	-3.4	-3.1	+0.2					
B2 三 正答 無解答	小5 小6	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	15.4	17.8	26.6	20.4	H21 B1 二 報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	13.9	17.7	18.0	12.6
			-2.4	+6.2	-3.8	+5.4					

【中学校国語】

過去の調査問題と類似問題の正答率

番号	指導学年	H 2 5 問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A5 二 正答 無解答	中1	「小麦はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する	73.3	75.6	0.3	0.4	H24 A6 一 「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す	68.7	68.1	3.3	3.1
			-2.3	-0.1	+0.6	+0.2					
A8 五 2 正答 無解答	中2	適切な敬語を選択する	91.5	91.3	0.8	1.0	H24 A7 三イ 適切な敬語を選択する（先生が、私の家にいらっしやる）	89.5	89.0	0.4	0.6
			+0.2	-0.2	+0.5	-0.2					
A8 七 2 正答 無解答	中1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（にほふ）	82.8	83.4	5.2	5.5	H24 A7 七 2 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（あらはす）	93.5	92.6	3.2	3.5
			-0.6	-0.3	+0.9	-0.3					
B3 三 正答 無解答	中2	間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する	64.4	64.6	6.1	5.4	H24 B1 三 これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く	21.4	19.7	20.5	13.9
			-0.2	+0.7	+1.7	+6.6					

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H22)との比較

【中学校国語】(H22 小学校国語との比較)

番号	指導学年	H 2 5 問題の概要	正答率		無解答率		H 2 2 小学校国語の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A3 二 正答 無解答	中2	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	47.8	48.8	7.1	6.0	H22 A4 メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	56.8	60.3	2.9	2.0
			-1.0	+1.1	-3.5	+0.9					
A4 二 正答 無解答	中1	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する	69.8	70.1	0.2	0.4	H22 B4 三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	59.0	65.5	4.6	3.0
			-3.0	-0.2	-6.5	+1.6					

過去の同一・類似問題との比較(算数・数学)

過去の同一・類似問題とは、平成19年度～平成24年度の調査問題と平成25年度の調査問題における同一及び類似の問題を指す。

各調査の問題の構成や難易度等が異なるため、単純な比較はできないことに留意する必要がある。

小学校算数において、A問題では同一問題が3問あり、すべて全国との差が小さくなった。また、無解答率も、すべてで全国との差が小さくなった。さらに、A問題では類似問題が12問あり、そのうち、5問で全国との差が小さくなり、2問で全国を上回り、1問で差が大きくなった。また、無解答率は、7問で全国との差が小さくなり、2問で大きくなった。

B問題では類似問題が6問あり、そのうち、1問で全国との差が小さくなり、2問で大きくなった。また、無解答率は、1問で全国との差が小さくなり、2問で大きくなった。

中学校数学において、A問題では同一問題が2問あり、すべて全国との差が小さくなった。また、無解答率は、1問で全国との差が小さくなった。さらに、A問題では類似問題が21問あり、そのうち、6問で全国との差が小さくなり、1問で全国を上回り、3問で差が大きくなった。また、無解答率は、6問で全国との差が小さくなり、2問で大きくなった。

B問題では類似問題が4問あり、そのうち、3問で全国との差が小さくなった。また、無解答率は、2問で全国との差が小さくなり、1問で大きくなった。

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H22)との比較では、A問題で類似問題が3問あり、すべて全国との差が小さくなった。また、無解答率は、2問で全国との差が小さくなり、1問で大きくなった。

同一問題とは、平成25年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「同じ問題」を指す。

類似問題とは、平成25年度全国学力・学習状況調査解説資料で「(参考)」として示された、これまでの調査問題と「関連のある問題」を指す。

北海道、全国の数値は、設問ごとの平均正答率を表す。

□の数値は、北海道と全国の差を表す。

は差が小さくなった問題、は差が大きくなった問題、は差がなかった問題及び、過去の調査問題が複数ありどちらにも当てはまる問題を表す。

番号のAはA問題、BはB問題を指す。

全国の欄の斜線は、国が調査の実施を見送ったため全国の平均正答率がないことを示す。

【小学校算数】

過去の調査問題と同一問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A1(1) 正答 無解答	小3	243 - 65	87.6	88.2	0.2	0.2	H22 A1(1) 243 - 65	83.4	86.9	0.3	0.2
			□ -0.6		□ ±0			□ -3.5		□ +0.1	
A1(3) 正答 無解答	小3	9.3 × 0.8	79.6	83.7	0.5	0.4	H19 A1(3) 9.3 × 0.8	79.3	84.7	1.1	0.6
			□ -4.1		□ +0.1			□ -5.4		□ +0.5	
A1(4) 正答 無解答	小4	6 ÷ 5	86.6	88.3	1.6	1.4	H22 A1(5) 6 ÷ 5	82.3	86.0	2.5	1.7
			□ -1.7		□ +0.2			□ -3.7		□ +0.8	

過去の調査問題と類似問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A1(1)	小3	243 - 65	87.6	88.2	0.2	0.2	H19 A1(1) 28 + 72	97.7	98.3	0.2	0.1
			□ -0.6		□ ±0			□ -0.6		□ +0.1	
							H20 A1(1) 132 - 124	90.8	93.0	0.3	0.2
								□ -2.2		□ +0.1	

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
正答 非解答							H21 A1(1) 153 + 49	94.2 -0.9	95.1	0.2 +0.1	0.1
							H23 A1(1) 806 - 9	87.4		0.2	
							H24 A1(1) 132 + 459	95.6 -0.1	95.7	0.1 ±0	0.1
A1(2) 正答 非解答	小4	0.75 + 0.9	73.3 +2.0	71.3	0.3 ±0	0.3	H24 A1(3) 4.6 - 0.21	59.9 -3.2	63.1	1.9 +0.3	1.6
正答 非解答	A1(3) 小5	9.3 × 0.8	79.6 -4.1	83.7	0.5 +0.1	0.4	H19 A1(2) 27 × 3.4	81.4 -4.1	85.5	0.8 +0.3	0.5
							H19 A1(4) 12 ÷ 0.6	61.2 -11.5	72.7	2.1 +0.9	1.2
							H21 A1(4) 48.1 ÷ 1.3	73.4 -7.0	80.4	5.7 +1.8	3.9
							H22 A1(2) 27 × 3.4	80.2 -4.1	84.3	0.7 +0.3	0.4
							H23 A1(3) 12 ÷ 0.6	70.5		1.2	
							H24 A1(4) 90 × 0.7	87.9 -2.9	90.8	1.0 +0.2	0.8
正答 非解答	A1(4) 小4	6 ÷ 5	86.6 -1.7	88.3	1.6 +0.2	1.4	H20 A1(4) 68.4 ÷ 36	69.0 -7.2	76.2	6.9 +2.8	4.1
							H23 A1(2) 13.9 × 7	80.2		0.6	
正答 非解答	A1(5) 小4	16 - (6 + 3)	94.4 ±0	94.4	0.8 ±0	0.8	H19 A1(7) 6+0.5 × 2	55.0 -13.9	68.9	2.0 +0.9	1.1
							H20 A1(5) 3 + 2 × 4	60.1 -10.8	70.9	0.8 +0.3	0.5
							H21 A1(6) 80 - 30 ÷ 5	55.8 -11.0	66.8	2.2 +0.9	1.3
							H21 中 A1(3) 2 × (5 - 8)	85.2 -4.3	89.5	1.6 +0.3	1.3
							H22 A1(6) 50 + 150 × 2	53.0 -12.9	65.9	1.2 +0.4	0.8
							H23 A1(4) 8 × 4 - 2 × 5	88.0		0.6	
							H23 A1(5) 5 × (2 + 3)	93.4		0.5	
							H24 A1(5) 6 × 2 + 8 × 3	80.1 +0.1	80.0	0.5 ±0	0.5
正答 非解答	A1(6) 小4	2 と 5/7 + 1 と 1/7	89.2 +0.3	88.9	2.2 +0.1	2.1	H21 A1(5) 7/6 - 2/6	97.1 -0.7	97.8	0.6 +0.3	0.3
							H23 A1(6) 1 と 2/7 - 4/7	86.8		2.5	

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A1(7) 正答 無解答	小5	2/9 × 4	83.0	89.5	3.1	1.7	H24 A1(7) 4/5 ÷ 8	69.9	82.4	9.5	4.2
			-6.5		+1.4			-12.5		+5.3	
A2 正答 無解答	小4	一万の位までの概数にしたときに、20000 になる数を選ぶ	55.1	60.2	2.5	1.9	H21 A2(3) 74291 を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	70.0	75.8	1.1	0.8
			-5.1		+0.6			-5.8		+0.3	
A5(3) 正答 無解答	小5	上底 3 cm、下底 8 cm、高さ 4 cm、斜辺 5 cm の台形の面積を求める式と答えを書く	67.8	73.3	2.4	2.1	H22 A5(2) 上底 3 cm、下底 7 cm、高さ 4 cm の台形の面積を求める式と答えを書く	55.2	70.1	4.7	2.5
			-5.5		+0.3			-14.9		+2.2	
A7(2) 正答 無解答	小5	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さを求める式と答えを書く	62.3	66.3	6.8	5.7	H21 中 A5(3) 円柱の展開図において、円の周の長さで長方形の辺の長さの関係について正しいものを選ぶ	81.1	82.6	0.7	0.8
			-4.0		+1.1			-1.5		-0.1	
A8(1) 正答 無解答	小5	200 cm の 50 % に当たる長さを選ぶ	73.8	76.7	2.4	2.2	H20 A9(2) 620 冊の本の 40 % の冊数を求める式と答えを書く	41.6	54.9	11.5	7.4
			-2.9		+0.2			-13.3		+4.1	
							H21 A7 200 人のうち 80 人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%かを選ぶ	53.8	56.9	2.3	1.5
								-3.1		+0.8	
							H22 A9(1) じゃがいも畑の面積 40 m ² が、学校の畑の面積 50 m ² のどれだけの割合に当たるかを書く	44.7	57.4	16.9	10.4
								-12.7		+6.5	
							H23 A9 100 人のうち 40 % が女子のとき、女子の人数と求める式を書く	36.2		5.4	
							H24 A8 犬を飼っている 8 人が学級全体の人数の 25 % に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く	49.3	58.3	14.2	10.0
								-9.0		+4.2	
A9	小3	最小目盛りが 2 に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	84.6	85.7	2.8	2.8	H23 A8 棒グラフを読み、児童数が最も多い学校名を書く	99.0		0.8	
			-1.1		±0						
B2(2) 正答 無解答	小4 小5	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	71.1	75.6	1.7	1.3	H24 A4 5 日間で 1 日に平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く	81.7	86.9	1.8	1.1
			-4.5		+0.4			-5.2		+0.7	
B2(3) 正答 無解答	小2 小3 小5	示された実験の結果から、ふりこの長さで 10 往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	30.3	35.2	23.9	19.0	H24 A9 直方体の底面の大きさを変えずに、高さを 2 倍、3 倍、... にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ	81.4	84.8	5.0	3.4
			-4.9		+4.9			-3.4		+1.6	
B4(2) 正答 無解答	小4	5 列 10 番の座席の位置を基に、2 列 4 番の座席の位置を表す	92.8	94.2	3.3	2.6	H21 中 A9(2) (2, 3) の位置を座標平面上に示す	75.6	77.1	3.9	3.5
			-1.4		+0.7			-1.5		+0.4	
							H24 中 A11(1) (-1, -4) の位置を座標平面上に示す	60.0	61.0	4.1	4.0
								-1.0		+0.1	
B4(3)	小4	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	45.3	50.6	9.6	7.4	H19 B6(1) 式を用いて計算した走り高跳びのめあてと実際の記録を比べ、正しい記述を選ぶ	60.2	64.9	12.0	8.2
			-5.3		+2.2			-4.7		+3.8	

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
正答 無解答							H19 中 B3(1) サッカー大会の総当たり戦での順位決め方から、指定されたチームの点数を計算する	85.1	86.5	3.3	2.8
							H19 中 B3(2) チームの順位決め方をもとに、1位のチームを選ぶ				
B5(1)	小3 小4	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	73.1	76.1	6.2	5.1	H23 B4(1) 5年前と比べて、国内生産台数は増えているが、輸出した台数の割合が減っている年を書く				
B5(2)	小5	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	37.3	44.4	9.4	7.8	H19 B4(1) 木曜日と日曜日に安売りをするケーキ屋で指定されたケーキを買うとき、どちらの曜日がいくら安くなるかを求める式と答えを書く	20.5	29.2	11.9	8.6
正答 無解答							H20 B2(3) 米の生産額について、「割合が減っているから、生産額は減っている」という考え方が正しいかどうかを判断し、そのわけを書く	13.3	17.3	2.6	1.9
							H21 B5(3) 4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く	14.5	17.7	11.1	7.6
							H22 B5(2) 割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く	10.5	17.1	7.2	4.5
							H23 B4(3) 1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数より多いことが分かるわけを書く	6.9		34.4	
							H24 B5(3) 示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	16.9	23.3	13.6	10.6

【中学校数学】

過去の調査問題と同一問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A2(2) 正答 無解答	中1	縦 a、横 b の長方形において、 $2(a + b)$ が表す量を選ぶ	63.5	66.9	0.3	0.4	H19 A2(3) 縦 a、横 b の長方形において、 $2(a + b)$ が表す量を選ぶ	58.1	62.6	0.6	0.7
A12 正答 無解答	中2	一次関数の事象を式で表す	53.5	54.3	19.8	18.4	H21 A11(2) 一次関数の事象を式で表す	51.6	55.6	21.0	18.4

過去の調査問題と類似問題の正答率

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A1(1)	小6	$5/8 \times 3/4$	79.8 -3.4	83.2	2.9 +0.6	2.3	H23 A1(1) $5/7 \times 3/4$	82.2		5.4	
A1(2) 正答 無解答	中1	$5 \times (4 - 7)$	83.4 -4.1	87.5	1.1 -0.1	1.2	H21 A1(3) $2 \times (5 - 8)$	85.2 -4.3	89.5	1.6 +0.3	1.3
A1(3)	中1	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	73.3 -2.5	75.8	0.4 ±0	0.4	H23 A1(2) 四則計算のうち、数が自然数の範囲では閉じておらず、整数の範囲では閉じている計算を選ぶ	48.7		0.7	
A1(4) 正答 無解答	中1	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	62.0 -2.8	64.8	7.1 +1.8	5.3	H20 A1(2) 正の数と負の数で表した2つの市の最低気温の差を求める	74.7 -2.3	77.0	3.4 +0.9	2.5
							H22 A1(3) 図書館から借りた本の冊数について、150冊を基準にして128冊を負の数で表す	82.5 -3.0	85.5	4.2 +1.0	3.2
A2(1) 正答 無解答	中2	$2(5x + 9y) - 5(2x + 3y)$	77.8 -3.9	81.7	2.3 ±0	2.3	H19 A2(1) $(2x + 7y) - 2(x - 3y)$	65.8 -7.1	72.9	5.3 +1.5	3.8
							H20 A2(1) $(5x - 8) - 2(x - 3)$	79.6 -2.9	82.5	4.8 +1.2	3.6
							H23 A2(1) $(4a - 6) - 2(a - 3)$	80.0		5.6	
							H24 A2(1) $(7x + 5y) - (5x + 2y)$	78.9 +1.3	77.6	1.7 -0.1	1.8
A2(3)	中2	a mの重さが b gの針金の1 mの重さを、a、bを用いた式で表す	29.0 -3.3	32.3	22.2 +3.8	18.4	H23 A2(3) 青色のテープの長さ a mは、黄色のテープの長さ b mの何倍であるかを、a、bを用いた式で表す	38.4		21.6	
A2(4) 正答 無解答	中2	等式 $2x + 3y = 9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	71.8 -2.2	74.0	0.7 -0.1	0.8	H19 A2(4) $2x + 3y = 9$ を y について解く	53.0 -2.9	55.9	15.4 +2.5	12.9
							H19 A3(1) 一元一次方程式 $7x = 5x + 6$ を解くとき、等式の性質を選ぶ	56.7 -4.1	60.8	1.4 ±0	1.4
							H20 A2(4) $x + 2y = 6$ を y について解く	53.1 -0.8	53.9	12.2 +2.3	9.9
							H21 A2(4) $S = 1/2ah$ を a について解く	39.9 -4.6	44.5	22.2 +4.5	17.7
							H21 A3(1) 一元一次方程式 $4x + 7 = 15$ を解くとき、移項の意味を選ぶ	65.1 -3.2	68.3	1.0 ±0	1.0
							H22 A2(5) $2x + y = 5$ を y について解く	65.4 -6.7	72.1	9.9 +2.6	7.3
							H23 A2(4) $3x + y = 7$ を y について解く	65.1		16.7	
							H24 A3(3) 一元一次方程式 $7x = 4x + 6$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	76.8 -1.7	78.5	0.4 -0.2	0.6

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A3(1) 正答 無解答	中1	$3x + 7 = 9$ を解く	73.5	73.7	6.8	6.4	H19 A3(2) 一元一次方程式 $4(x + 5) = 80$ を解く	79.8	82.9	8.9	7.1
			-0.2		+0.4		H20 A3(1) 一元一次方程式 $-5x + 7 = -x + 31$ を解く	73.5	77.8	10.0	7.5
							H21 A3(2) 一元一次方程式 $3/4x = 1/4x - 7$ を解く	48.7	52.3	17.9	15.0
							H22 A3(2) 一元一次方程式 $(x + 1)/5 = 2$ を解く	51.6	58.1	19.3	15.5
							H23 A3(1) 一元一次方程式 $0.1x + 1 = 1.5$ を解く	72.6		12.6	
A3(2) 正答 無解答	中2	$2x + y = 6$ の解となる x, y の値の組を選ぶ	75.6	77.5	1.0	1.2	H20 A3(3) 二元一次方程式 $x - y = 1$ の解の個数を選ぶ	58.0	58.0	1.7	1.7
			-1.9		-0.2			±0		±0	
A3(3) 正答 無解答	中2	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	83.5	82.7	9.4	9.2	H19 A3(3) 数量の関係を連立二元一次方程式で表す	67.5	70.4	14.1	12.3
			+0.8		+0.2		H20 A3(2) 数量の関係を一元一次方程式で表す	55.2	59.6	23.3	19.1
							H21 A3(3) 一元一次方程式をつくるために、着目する数量を答える	33.4	34.9	20.2	18.5
							H22 A3(4) 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	69.5	72.1	1.5	1.3
							H23 A3(2) 2通りで表される数量を文字を用いた式で表し、一元一次方程式をつくる	47.8		10.7	
A4(2) 正答 無解答	中1	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	48.6	48.9	0.8	1.0	H20 A4(2) 垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	51.9	51.5	1.4	1.4
			-0.3		-0.2		H23 A4(1) 垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	53.3		1.4	
A4(3)	中1	ABC を、点 C を回転の中心として時計回りに回転移動して DEC にぴったり重ねたとき、回転角の大きさを求める	54.2	56.0	4.3	3.5	H23 A4(2) 正三角形 DAC を、点 C を中心として時計回りに回転移動して正三角形 BEC にぴったり重ねたとき、回転角の大きさを求める	30.1		7.2	
			-1.8		+0.8						
A5(3)	中1	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	46.5	47.1	0.7	0.9	H23 A5(4) 球と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	41.8		1.0	
			-0.6		-0.2						
A7(1) 正答 無解答	中2	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	78.9	79.2	0.6	0.7	H19 A8 証明で用いられた三角形の合同条件を選ぶ	72.1	73.2	0.9	1.0
			-0.3		-0.1		H22 A7(2) 証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	50.8	55.4	1.1	1.1
							H23 A7(1) 証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	57.6		1.0	
A7(2)	中2	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	67.1	68.5	16.2	14.1	H20 A7 平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	51.9	57.3	16.6	13.6
			-1.4		+2.1		H21 A7(2) 底角が等しいことを記号を用いて表す	67.7	69.5	17.0	15.5
							-5.4		+3.0		
							-1.8		+1.5		

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
正答 無解答							H22 A7(3) 平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	56.9	61.9	18.2	14.8
	A7(3)	中2 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	44.0	47.7	1.0	1.1	H23 A7(2) 長さの等しい2本の棒を2種類使って組み合わせた四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	27.2		1.1	
	A8	中2 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	62.3	64.1	0.9	1.0	H20 A8 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	55.9	57.6	1.5	1.4
正答 無解答							H24 A8 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	63.0	64.4	0.9	1.0
A10(1) 正答 無解答	中1	座標平面上の点の座標を求める	77.2	78.9	5.0	4.4	H20 A11(1) 反比例のグラフ上の点の座標を求める	71.0	73.3	13.9	11.7
A10(4)	中1	反比例 $y = 6/x$ のグラフを完成する	67.8	71.0	8.2	6.8	H23 A10(3) 反比例 $y = 4/x$ のグラフを完成する	72.2		12.5	
A12 正答 無解答	中2	一次関数の事象を式で表す	53.5	54.3	19.8	18.4	H21 A11(2) 一次関数の事象を式で表す	51.6	55.6	21.0	18.4
A15(2)	中2	大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める	52.7	53.8	15.5	12.9	H20 A15(2) 赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	72.3	74.6	12.3	10.3
							H21 A13(2) 大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める	53.5	57.1	14.4	14.3
							H23 A13(1) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	48.4		21.5	
							H24 A14(2) 数字の書かれた3枚のカードから2枚のカードをひくとき、両方とも奇数のカードである確率を求める	58.6	57.4	6.9	6.9
B2(1)	中2	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	34.9	37.3	26.3	23.1	H20 B2(2) 2けたの自然数と、その数の十の位と一の位の数を入れかえた数との和が11の倍数になる説明を完成する	32.1	38.6	34.7	27.6
							H24 B2(1) 連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	31.5	36.3	28.9	24.1
B2(2)	中2	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	34.1	38.0	39.9	34.9	H20 B2(3) 2けたの自然数と、その数の十の位と一の位の数を入れかえた数との差について予想した事柄を表現する	41.9	48.0	44.7	37.2
							H24 B2(2) 連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	51.9	55.3	29.2	24.9

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		過去の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
B4(1) 正答 無解答	中2	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	32.2 -0.2	32.4	26.4 +3.1	23.3	H21 B4(1) 2つの線分が平行になることを、三角形の合同を利用して証明する	39.5 -1.5	41.0	24.2 +3.0	21.2
B4(2) 正答 無解答	中2	2つの辺の長さが等しいことを証明する際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ	56.2 -0.9	57.1	1.8 -0.2	2.0	H21 B4(3) 2つの線分が平行になることを証明する際に、平行四辺形に着目し、平行四辺形になるための条件を選ぶ	51.4 -3.9	55.3	1.3 ±0	1.3

今年度の中学校第3学年が、小学校第6学年の時の調査問題(H22)との比較

【中学校数学】(H22 小学校算数との比較)

番号	指導学年	H25問題の概要	正答率		無解答率		H22小学校算数の問題の概要	正答率		無解答率	
			北海道	全国	北海道	全国		北海道	全国	北海道	全国
A2(3) 正答 無解答	中2	a mの重さが b gの針金の1 mの重さを、a、bを用いた式で表す	29.0 -3.3	32.3	22.2 +3.8	18.4	H22 A2(1) 8 mの重さが4 kgの棒の1 mの重さを求める式と答えを書く	43.4 -10.4	53.8	5.8 +2.2	3.6
A4(3) 正答 無解答	中1	ABCを、点Cを回転の中心として時計回りに回転移動してDECにぴったり重ねたとき、回転角の大きさを求める	54.2 -1.8	56.0	4.3 +0.8	3.5	H22 A5(1) 三角定規が示された場面で、60°の補角の大きさを求める	76.6 -6.1	82.7	4.1 +1.8	2.3
A7(3) 正答 無解答	中2	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	44.0 -3.7	47.7	1.0 -0.1	1.1	H22 A7 方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ	67.7 -8.4	76.1	3.3 +1.4	1.9

